



TITLE:

雑報

AUTHOR(S):

---

CITATION:

雑報. 地球 1930, 13(1): 78-81

ISSUE DATE:

1930-01-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/183702>

RIGHT:

刊號であるから内容體裁に於て整つてゐぬ疑はあるが、一本を贈られたから爰に紹介すると共に、衷心より其の創生を祝福し、健全な成長を希つて止まぬ。(村松)

## 雜報

### ○朝鮮咸鏡南道赴戰水軍事業

北朝鮮の南部に西南—東北に向ふ、山脈は其の斷層崖を南に向け城川江南大川等は南に流れ、長津江、其支流の赴戰江等は、高原の中を深谷を描いて北流する。此の地形を逆を利用して、近時水力發電所が計畫されて居るのは興味ある問題である。

赴戰江は赴戰嶺附近の白巖山より發し二千米内外の高原地帯を北に緩流し中江里で長津江に合し鴨綠江本流に注ぐのである。此の赴戰江の水路を堰塞し其の面積(流域面積)五一、五方里といふ一大湖水を作り幾條かのトンネルを以つて赴戰嶺の斷層崖を南に貫流し、その崖を利用して城川江に流下せしめ大なる落差を得んとするものである。

此の大工事は朝鮮水電株式會社の經營にして、總工費四千五百萬圓、其の電力十八萬キロワットを得、其の電力は主に咸興附近にある朝鮮窒素肥料會社に供給するといふ事である其の肥料は硫酸アンモニヤ其他の窒素肥料の製造をなす由で其の電力は、肥料會社に供給して尙餘裕があるといふ事だから咸鏡平野は工業地帯になり東朝鮮の産業革命を來すであらう。

因に朝鮮にはかかる地形を利用した發電所は已に他にて經

營せられ金剛山の西方北漢口の水を堰止めて北方南大川流域に落しそこに發電所を設けたものあり又全北東南部の臺地を流るる鰲津江上流の水を西北の方黃海斜面に落すもの等がある。(吉川)

### ○清津無線電信局開局

東朝鮮沿海の交通上其他に、附近に無電局設備の必要があり遂に昭和三年度に入り豫算を計上し遂に清津府内天馬山の山腹に(海面上百八十八尺)建設せられ今年八月十六日より通信事務を執つてゐる。

内容を書くと無電敷地七千七百八十二坪、局舎は木造平屋建二棟、送信機力及方式は二キロワット真空管式送信機一機空中線鐵塔及空中線竝地氣は高さ四十五米、三十六米の自立式鐵塔各一基、受信設備は再生檢波低周波二段增幅真空管式受信機一臺を設け清津郵便局との間には、複線式音響機、單電信回線及直通電話線各一回線を設備してゐる。

近時東朝鮮沿岸の發達急速にして、沿岸漁業を始め農林産の物資盛に内地に向けられ内地との往來繁く咸鏡嶺の完全に貫通するあり、東西朝鮮の握手愈々密接の度を加へ特に對滿的往來盛ならんとし東朝鮮沿岸の發達日に隆盛の度を加へつつある時本無電局の開設は誠に慶ぶべきことである。(吉田)

### ○比律賓英領北ボルネオ境界條約

比律賓及英領北ボルネオ間の最後の境界は去る十一月七日華府に於て交渉を終了した新境界條約はタートル(Turtle)及マンゲシー(Mangsee)群島中の小島嶼を確定的に處理するのであった。

マングシーは單なる珊瑚礁に過ぎず、勿論經濟價值はないが、今度の境界は本群島中の二大島を分割するものと信じられてゐる。タートル群島は七島より成る、此中六島はヒリツピン側へ、一島はホルネオ側に編入せらるゝ豫定である。比島側の島々は、米國の領有に歸するも英領北ホルネオ會社によりて管理を繼續せらるべく、此は同會社が一八八五年より引續いて島を管理したる事實を尊重するためである。この島は比律賓より遠隔の地に在り、然も英領ホルネオに近接して居て其中には英領北ホルネオの首府サンダカンに對する燈臺が建設されてある。この島は海賊や密輸入の歴史に於て凄惨な過去を有して居るから、其管理官廳はさうした海賊や密輸入者の集合的とならざる様に看視する任務がある。又支那人の比律賓密渡航者の出發地とならざる様警戒を必要とするのである。

西班牙統治時代の英領との境界は、ホルネオ沿岸を去る三海里の地點としてあつた。米國がスペインからその後をうけて、シブツ島は米國領としまつたが、然しタートルの領有は不明瞭のまゝ放置されてゐた。一九〇四年米國がタートルの領有に關し英國政府にかけ合つたとき、タートルは既に北ホルネオ會社に管理されてゐた。そこで統治權は米國に歸し、會社は年百五十弗の税金を米國に納めることになつたけれど、もやはりこの島を管理したので、今回はさうした事實によつて境界線が定められる。しかし實質上に於てはやはり北ホルネオ會社が管理するのであらう。

## ○佛領北アフリカの香料植物

佛領北部アフリカの

海岸地方亞熱帶氣候は香料植物栽培に適し、香料生産の中心として著名なる南佛グラツク地方に比して霜害少きため斯業大に發達し、アルジェリーは今や香料を重要輸出品とするに至り、アルジェー市の南方 Bougie を中心とし、同地には大規模の蒸溜工場等をつくつてある。その栽培の一はシエラニウム、ローズで其の作付最も多い、これは薔薇の代用にするもので植物の各部分から香料をとる、その栽培地面積三千町に達す。十一月から二月までの間に植付け、四月、六月及十月、三回刈取る、刈取つた莖や葉は直に農場にて刻み、葡萄蒸溜と同様の方法で蒸溜する、その滓は肥料にする。世界ではレユニオン島のシエラニウム香精が第一位をしめ、アルジェリーはこれにつぐ、一九二七年度にアルジェーから我日本へ輸出した額は二、四一〇担に達した。

猶シエラニウムの外に薔薇花をつくるが、この方は前者程盛んでない、しかしモロツコでは近頃少量を輸出するやうになつた。

オレンジの一種にしてキエラソー酒製造に用ひらるゝネロリといふ香料は、ヒガラード樹の花からとるのであるが、これもアルジェーの南方でつくられる、一九二六年度にシエニウム香精の輸出額は二千四百萬法に達し、ネロリは七十二萬法に上つた。増減はあるが、前者九〇、〇〇〇担、後者六〇萬乃至二五〇担の輸出額がある。

## ○カムチャツカの毛皮

カムチャツカ (コマンドルス

キー群島及チユコツキー地方を含む)は各種毛皮中黒貂、獵虎、淡青色及白色北極狐等貴重毛皮の世界的産地として知られ、是等産物を米國始め各國市場へ供給してゐるが、その産額は從來誇張して宣傳されてゐた、例へばコマンドルスキー群島を主産地とする淡青色北極狐の如き年獵獲高二千枚と算せらるゝも、同皮は僅に一、二枚宛獵獲せらるゝもので、實際は六、七枚をこえない、又チユコツキー地方の白色北極狐も一萬五千枚と稱せられてゐたが事實は三、四千枚にすぎない。最近ソヴィエツト政府は毛皮賣買を國營アコの一手に收めんとしてゐるが、狩獵業者又は個人毛皮所有者はアコに賣らないで、密獵密賣依然たるものがあるから、猶更精確なる數字が出てこない。しかし可成精確な推算によればこの地方の毛皮の產出は最近左の如である。

黒貂	一九五	一九六	一九六(推定)
獵虎	三、〇三枚	二五枚	二〇枚
獵虎	四七	三六	四一
白色北極狐	三、三三	二、三三	一、六六
赤狐	六、九七	四、七〇	六、二五
獵虎	一〇	三六	一四
白熊	一八	二六	九五
獵虎	九七	三七	六六
栗鼠	七四、六六	二、三三	三、三三
獵虎	五、九七	八、七〇	五、九六
獵虎	三、九〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇

貂 七、三三 八、二五 八、五五 三、三三 一〇、〇〇  
計 一〇、九七 五、六七 五、九六 三、二七 一〇、四〇

之に依つてみると、獵獲の毛皮は總體的に逐年減少の傾向にある、この中黒貂が一九二六、二七年に著しく減少したのは二ヶ年間同様の狩獵を禁じたからであつた。猶一九二九年の分は豫想高であつて僅かな數字でない、兎及貂の一萬枚、栗鼠の十二萬枚は過多である、毛皮の價は近頃騰貴し黒貂は百二十留乃至二百留、獵八十留、白狐七十留、赤狐三十留、獵三十留、獵二十五留、栗鼠及貂三十留といふのがアコの買上げ價格で、個人取引はこれよりも二割乃至五割位高い、一九二五年以後獵虎の狩獵がないのは、之を禁止してゐるからである。但し逐年獵獲の減少は土人の獵獲によるものであつてこのまゝ推移すれば、カムチャツカの毛皮の將來は大に憂慮すべきものといつてよいと思はれる。

### ○ウラルの新油田

今回、ウラル山脈の西方斜面に位するバーム附近で油田が発見された。この四月バームで加里探掘中偶然石油を発見した、深さ九七五呎の地點に油層がある、六十五呎の下に多量の石油埋藏を證する非常な壓力の瓦斯がある、この石油は多量の硫黄分と一％七の高率な精油を含有してゐる、又ケロシンの量はロシヤに於て未だ嘗て見ない程の高率で殆ど二八％に達する。オパールチェフ及グブキン教授の言によれば北方ウカータンより南方オアシシユチイーシルトまで千哩以上ウラルの西方斜面に廣大な石油層が

存在するといふことである。

## ○薩南の植物景

圖版第一版解説 日向の青島に蒲葵の森があつて熱帶風の景致をしめすことは世人の知る通りであるが薩摩の南端谷山附近でも棕櫚の木蔭に甘藷畑が茂つてゐたり枕崎の街道の傍に人の背よりも高い仙人掌の木がうばつてゐるところ、何といつても薩摩は南國ではある。

## ○中等教員地理科本試験口述試問

第一日(十二月十六日)

### 第一室

紅土の標本を示し其の分布を説明せしむ。

陸地測量部發行五萬分の一地形圖「石動」圖幅を示し地理景觀を説明せしむ。

### 第二室

アフリカの地圖を示し同大陸の自然及び人文地理を説明せしむ。

### 第三室

陸地測量部發行五萬分の一地圖「油木・新見」兩圖幅を示し圖上に現はれたる人文景觀を説明せしめ兼ねてそれと地形との關係に及ぼしむ。

### 第四室

鐵、石炭、石油、棉花の世界産出のグラフを與へてそれが産出曲線の動態に付き説明せしむ。

第二日(十二月十七日)

質疑應答

ヨーロッパの掛地圖を示し主要炭田に付き自然地理的及び人文地理的に説明せしむ。

## 質疑應答

問 ボーランド廊下(文檢豫備)

答 Corridor を英和辭典でひくと廊下、又は覆道とかいてあるが、廊の下といふ漢字では何のことかわからぬ、もしこれを家屋内の通路といふことだとすれば、廊下の下は、日本語として不當である。渡廊といふ古語の方が正しい、ボーランドの地形を支配する交通路としてのヴィスチユラ川のことを Vistula "Corridor" といつてゐる、その沿岸はこの國で重要な農業地域であり、工業地域である、従つてこの川は經濟地理上最も肝要な渡廊といつてよい。(藤田)

問 蚌埠(文檢豫備)

答 蚌埠は近頃石友三軍の獨立で名高い、蓋しこの地は淮水と浦口線の交點に出來た新市場である、淮水の流水は上流信陽まで舟楫の利があるのみでなく、鐵道によつて北は徐州をへて山東、河北、河南、陝西に達し、南は浦口、南京をつらねて江浙の富饒を集める。大運河の便は吳王夫差以來開かれて三千年。安徽省中唯一の埠頭である。蓋し従前汽車のなかつた當時は肝胎、鳳陽、泗州などが天下の要樞として發達したのであつたが蚌埠が開けて、これら三市の富をこの一點に